

私たちこう考える これからの日本植木協会

「植木を通じてこういう社会をつくりたい」といったビジョンを

明治大学教授/公益財団法人都市緑化機構理事長 輿水肇氏



輿水 肇(こしみず はじめ) 氏

プロフィール
1944年東京都生まれ。1968年東京大学農学部農業生物学科卒業。同大学院を経て、明治大学農学部教授。専門は、人工地盤における緑地植物の植栽に関する研究。米国、英国、仏国等の屋上緑化の事例を調査し多くの事例に通じており、日本の屋上緑化の助言、指導を行っている。(公財)都市緑化機構理事長、日本芝草学会顧問なども務める。

「もう力業の緑化、男性的な緑化と言えます。立派なマツを植えて大きな石を置いて「どうだ、すごいだろう」という、大名庭園みたいなものですね。もちろん、そういう緑化があっても良いのですが、緑化とはそういうものだけではありません。

一九九〇年に大阪で開催された「国際園芸博覧会(花博)」は、開催前には関西の経済人に「花なんかで人が集まるものか」なんて言われていました。ところが実際には、来場者が予定の二千万人を大きく超えるほどの大盛況で、この花博をきっかけにしてガーデニングがブームとなりました。そして、自分でコツコツと庭の緑を育てるだけでなく、そこから「街路樹の間が見苦しいから、地域でサケルをつくって花を植えよう」といった運動や、食の安全・安心を求めての菜園づくり、さらには自然保護活動まで広がるような動きを見せていました。このように地面から湧き上がってくるような緑が広がり、都市景観や社会構造までを育していくような緑化もあるのです。これは言わば育てる緑化、女性的な緑化

緑にしよう」ということで街路樹をどんどん植えました。高度成長期になると工場による大気汚染や騒音などを抑え込むための工場緑化を進めてきました。これらは完成品をその場につくってしまう力業の緑化、男性的な緑化と言えます。立派なマツを植えて大きな石を置いて「どうだ、すごいだろう」という、大名庭園みたいなものですね。

女性的な 「育てる緑化」が 広がりを見せている



生物多様性保全の 観点から 安心・安全な苗木を

植木業界や造園業界には、「草花や野菜なんて、女子供の遊びに付き合っていられるか」という人がいるかもしれません。それでも時代遅れです。庭の花も、菜園の野菜も、街路樹も、知床や屋久島の自然保護も、国民の中では同じ意識の中のものなのです。日本植木協会も、このような育てる緑化、女性的な緑化のニーズにも応えられるような商品やノウハウを提供してくべきだと思います。そういう意味では、昨年東京で開催された都市緑化フェアでの「食べられる緑化木」の展示のような取り組みは、素晴らしいと思います。

生物多様性が世界的潮流になってきているのは間違いないかもしれませんし、多くの人が生物多様性を意識するようになってきています。とはいっても、「そのためには何をすればいいのか分からない」という人がほとんどでしょう。このことについて



屋上に太陽光発電パネルを植物と併用して設置すると、床面温度上昇が抑えられ発熱効率が良くなることを実証する実験。パネルの下でも芝は生育可能であり、今後はその他の地被類でも実験予定。芝の上の二枚のパネルは、屋上全体での発電量を比較する実験。地面と平行にパネルを設置すると、パネル面積(枚数)を確保できる。(前)

一方、発電効率が最も良い太陽の入射角にあわせた角度で設置すると、後部の影を考慮しパネルの前後間隔をあけるため、総設置枚数は減少する。角度がある方が、床面の植物は生育しやすい。(奥)

トータルでどちらの発電量が多くなるのか?

この木は要注意」といった地域ごとの指針をつけて、会員の方に周知していく努力が必要です。そういった知識の上でつくられた苗木は、安全・安心の苗木となり、地域の間が見苦しいから、地域でサケルをつくって花を植えよう」といった

「それならば伐ってしまえ」と言うのは簡単ですが、それでは都会から緑が減る一方です。そもそもこういったものに必要となるでしょう。このことも、日本植木協会にとってはチャンスとなるはずです。

守られる多様性があることを、まずは理解してもらわなければなりません。地域の生態系に遺伝子的な悪さをする可能性がないものは、庭でも街路樹でも、植えて楽しんでいただいても問題ないのであります。

要するに生物多様性には、導入することと広がる多様性と、導入しないことで庭に植えたところで問題にはなりません。一方で、ミツバチソジのような各地で固有種ができるようなものは、そこに他の地域のものを植えてしまうことが遺伝子の搅乱につながり、よろしくありません。

同じように、高度成長期につくられた高層ビルや大型マンションなどの緑化も、そろそろ劣化が始まっています。もともと植物にとって良い環境ではありませんから、木肌がボロボロに痛んでしまって壊してしまった事故もあります。しかし、そうでないものは、しっかりと地域性の苗木を利用していく体制をとる必要があります。

800mm土圧を確保している屋上緑化。近年の猛暑で人口軽量土壤では植物が枯死するケースも見られている(左側)。右側は通常土壤。

新たなニーズを つくり出すのも 日本植木協会の使命



残念です。

とはいっても、日本植木協会や生産者の皆

さんだけで新たなニーズを見出したり、

つくり出したりするのは難しいかもしれません。

そういう場合は、これまで接

点がなかったような人のコラボレーションを考えてみるのも良いでしょう。

例えば、「全国都市緑化フェア」では

庭園の提案がいくつか出展されていますが、インテリアデザイナー系の方たち

が出展していたものには、従来のもの

は違つ魅力を感じました。新しい感性に

よる庭づくりには、将来的な可能性があ

ると思います。屋内緑化も広がりつつあ

るので、そういう人たちと組んでみる

ことで、新たなニーズが見いだせるかも

ません。

また私の研究室では、ソーラーパネルと屋上緑化の両立に関する研究を行っています。ソーラーパネルはパネル面が高溫になると発電効率が下がってしまうのですが、天然芝の上に置いたパネルの裏面温度は、モルタルの上に置いたものと比べて、有意に低下することが分かりました。パネルの下で健全に育成させられる種の探索等まだ課題はあります

が、そういった技術を確立することがで

きれば、これも「ソーラーパネルとセット」という新たなニーズとなる可能性があります。

そういう意味でも、日本植木協会のカレンダーは、その植木があることによるう

イフスタイルの提案を感じられないのが

【野田坂伸也氏プロフィール】

1941年 岩手県生まれ。
1965年 東京大学農学部林学科造園学教室卒業
1967年 東京大学農学系修士課程(造園学専攻)修了
1967年 東京大学農学部園芸学第2研究室助手
1972年 岩手県・小岩井農牧(株)入社
1986年 (株)野田坂緑研究所を設立
2011年 「木を選ぶ・野田坂造園樹木事典」出版
2012年 委員として本協会・災害復旧樹種検討委員会へ参加

樹木の造園的見方

第2回 サクラ

(株)野田坂緑研究所 代表 野田坂 伸也 氏

年間特集

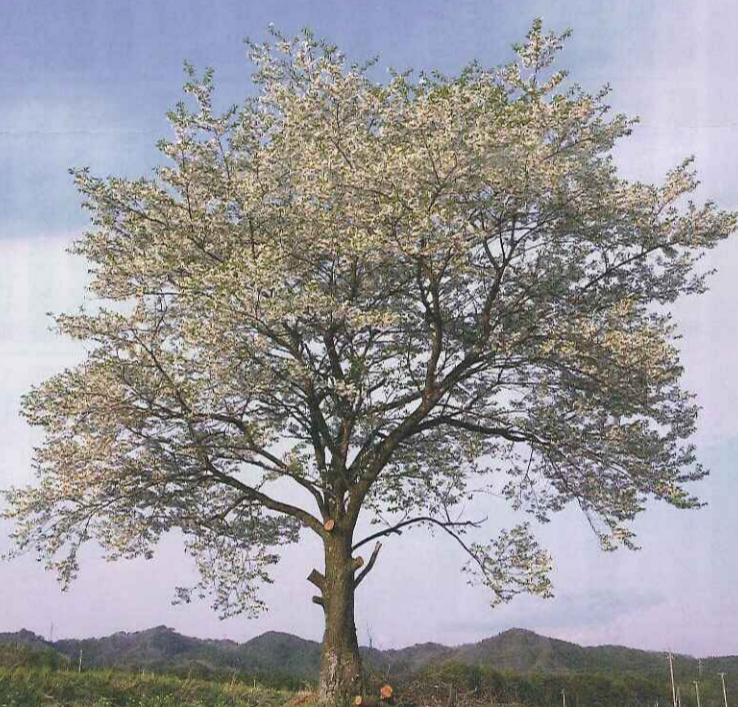
樹木を知る

日本では桜の本がたくさん出版され書いていて、造園家が書いたものはほとんど無いと思うのですがどうでしょうか。もし造園家がサクラの本を書くなら次のような内容にするのが良いのではなかと私は思います。

1. 樹体の大きさ別に分ける

庭造りの仕事をしていると「庭に桜を植えたい」といわれることが良くあります。そんな時ソメイヨシノを挙げる造園家としての常識の無い設計家がけっこういます。言うまでも無くソメイヨシノは大きくなりすぎて普通の庭では持て余してしまいます。また病虫害特に天狗巣病にかかりやすいのも重大な欠点です。庭木用のサクラは成長の遅い、大きくならないサクラでないと困ります。しかし、小型で庭植えに適したサクラをまとめて紹介した本が見当たりません。(実は私が書いた「野田坂造園樹木事典」では庭木に向か桜を多数紹介しております)。

2. 樹形の説明が必要である



カスミザクラの花色は地味であるが味わいがある。



カスミザクラの花のアップ

造園植栽設計では、どんな樹形であるかということも大事なポイントの一つです。

サクラの多くの点もかなり

あいまいです。花の特徴だけでは計画

している場所に合うかどうか判断に苦しむ

ことがあります。

逆に暖地では一般的なサクラは衰弱して

しまい、沖縄や台湾のカンザクラ

を親にした品種をつくる必要があります。

すでにいくつか出回っているよう

ですが、花の色や樹体の大きさにもっと

変化があれば南国でもサクラの名所がで

きるようになるでしょう。

我が國では一般的なサクラは衰弱して

しまい、沖縄や台湾のカンザクラ

を親にした品種をつくる必要があります。

すでにいくつか出回っているよう

ですが、花の色や樹体の大きさにもっと

変化があれば南国でもサクラの名所がで

きるようになるでしょう。

我が國では一般的なサクラは衰弱して

しまい、沖縄や台湾のカンザ克拉

を親にした品種をつくる必要があります。

すでにいくつか出回っているよう

ですが、花の色や樹体の大きさにもっと

変化があれば南国でもサクラの名所がで

きるようになるでしょう。

我が國では一般的なサクラは衰弱して

お知らせ

新樹種部会

●平成25年度通常総会 翌日研修会開催

- (1) 月 日 平成25年6月4日(火)
- (2) 場 所 ホテル名古屋ガーデンパレス
(名古屋市中区錦3-11-13 TEL: 052-957-1022)
- (3) 通常総会
*通常総会 13時~14時10分 (受付は12:30~)
*講演① 14時20分~15時40分
『江戸の園芸』
名古屋園芸株式会社 取締役隠居 小笠原左衛門尉亮軒 氏
② 15時40分~16時30分
『植物学者 AsaGray (エイサ・グレイ) の世界』
部会顧問 安藤敏夫氏 (千葉大学名誉教授)
- *懇談会 17時~19時
- (4) 観察研修会 6月5日(水) 8時半~14時頃
8時30分に各自チェックアウトを済ませた上でホテル玄関に集合。
バスにて安城産業文化公園「デンパーク」を観察。
JR三河安城駅を経由して14時頃 JR名古屋駅で解散。
※中部国際空港をご利用の方は JR三河安城駅から高速バスがあります。(約60分)
- (5) 参加費 懇談会: 6,000円/人
研修会: 2,580円/人 (昼食込)
(部会員以外 7,580円/人)

締切り 5月7日(火)迄

●観察研修会「新樹種の可能性を求めて」参加者募集中!

例年園芸ファンでにぎわう国際バラとガーデニングショーの見学、東京近郊の特徴ある農園ナーセリーを2日間で訪れる有意義な勉強会です。ふるってご参加、お待ち申し上げます。

■集合日時: 平成25年5月14日(火) 13:00

■集合場所: 西武ドーム 埼玉県所沢市上山口2135
(西武狭山線 西武球場前下車)
「第15回 国際バラとガーデニングショー」
※入場料は自己負担。各自で入場し、会場内のバックネット裏スタンド座席に集合

■内 容:

日 程	場 所	備 考
5月 14日 (火)	13:00~ 14:50 国際バラと ガーデニングショー観察	
	14:50 集合場所より全員で移動	マイクロバス(予定)
	15:40~ もみじ専門 司メープルほか観察	
	18:30 ホテル チェックイン	立川グランドホテル
	19:00~ 東京都支部との交流会	
15日 (水)	8:00 ホテル出発	マイクロバス(予定)
	9:00~ 青梅地区観察	
	10:30~ あきる野地区観察	
	12:00~ 13:00 昼食	
	13:30 JR立川駅にて解散	

- 参加費: 1) 入場料 (各自精算)
2) 懇親会費: 5,000円位/人 (実費精算)
3) 宿泊費: 8,210円/人 (事務局で予約・各自精算)
※シングル朝食付
4) 昼食費: 2,000円+飲み物/人 (各自精算)
※新樹種部会員以外の方は上記のほか、バス代￥2,000が必要です。

■申込: 詳細は事務局までお問い合わせください。 (〆切 4月30日)



タマリュウ生産販売
タマリュウジャパン
タマリュウ定期便で
いつでも・どこへでもお届けします。
●ご注文はホームページ、
電話・FAXでも承ります。
〒893-0013
鹿児島県鹿屋市札元2丁目3727-2
TEL: 0994-44-6993
FAX: 0994-44-6996
URL <http://www.tamaryu.jp/>
E-mail: net-shop@tamaryu.jp

お知らせ

ロジテック部会臨時総会

*総会

- 1 日 時 平成25年5月24日(金) 14時00分~16時00分
2 場 所 マロウドイン赤坂 (協会から徒歩3分)
電話 03-3585-7611
3 受付時間 13時45分
4 解散時間 16時00分
5 日 程 受付 13:45~14:00
総会 14:00~16:00
懇親会 17:30~19:00

*懇親会

- 1 日 時 5月24日(金) 17時30分~19時00分
2 開催場所 東京湾船上 (貸切船)
3 解散場所 都営大江戸線勝どき駅
4 日 程 5月24日(金)
5 懇親会費 5,000円
6 宿 泊 各自ご負担の上手配願います。
7 交 通 総会会場と、懇親会場への往復旅費は各自ご負担をお願いします。

生産数量調査システムデータ
入力協力依頼

会員の皆様に例年ご協力を頂いている生産数量入力プログラムを5月下旬頃に協会ホームページにアップする予定です。アップ後に会員の皆様各自で協会ホームページからダウンロードして入力をして頂き、また入力後のデータは、協会事務局へEメール (data@ueki.or.jp) による送信をお願いいたします。

確度の高いデータを社会に反映して行く為に全協会員の入力実施実現にご協力ををお願い致します。

不明な点がございましたら協会事務局担当までご連絡下さい。

「とっとりグリーンウェイブ」と
グリーンウェイブ2013活動への参加について

鳥取県 生活環境部 緑豊かな自然課

鳥取県では、本年春に第六十四回全国植樹祭が、秋には第三十回全国都市緑化とっとりフェアが開催されるなど、「緑」に関連した催事が連続して予定されているところです。このため県では、自然環境を守り育む活動や緑化・環境・エコなどの各種取り組みを「とっとりグリーンウェイブ」と位置づけ、全国に向けて情報発信するとともに大きなうねりとしていきたいと考えています。

この取り組みに併せて、これまで国や(一社)日本植木協会において取り組まれてきた「グリーンウェイブ」運動とも協働して活動を展開することとし、五月二十二日の「生物多様性の日」に合わせて、日本植木協会鳥取県支部のご協力をいただき県内全ての小学校への植樹用苗木の配布と本県におけるグリーンウェイブ2013の活動開始を告げる植樹イベントをJ R鳥取駅前で行う予定です。

「とっとりグリーンウェイブ」の取り組みが、県民が鳥取の魅力を再認識し活動に参加する契機となり、グリーンウェイブ2013活動の一助となればと思います。併せて協会員の皆様には、本県開催の全国植樹祭へのご協力、全国都市緑化とっとりフェアへのご参加、ご来場いただきますようお願いいたします。

新樹種部会

カシワバアジサイ ‘バック ポーチ’
Hydrangea quercifolia ‘Back Porch’

- * 落葉低木 樹高1.5~2m
- * 集合花は小さく先は尖らない。
- * 花に芳香があり、日当たりでは淡いピンク色を帯びる。
- * 日陰でも植栽できるが、秋の紅葉を楽しむためには日当たりがよい。
- * この仲間はアジサイの中では乾燥を好む。

協会カレンダー Trees&Shrubs2013 5~6月貢掲載

会員動向

正会員・退会

▷(株)エコ・グリーン(埼玉県)
富田照雄
▷立石種苗園(和歌山県)
立石充計

住所・TEL/FAX変更

▷(株)ダイショーフォレスト(宮城県)
(新)〒989-2412
宮城県名取市堀内字南竹278
TEL 0223-35-7185
FAX 0223-35-7186
メールアドレス
daisho.f@bird.ocn.ne.jp

担当者変更

▷(有)仲田種苗園(福島県)
(新)仲田茂司
(旧)柿畠弘志

代表者・メールアドレス変更

▷(株)松下園芸(千葉県)
(新)松下辰雄
(旧)松下敏雄
(新)メールアドレス
mazz-tazz.7247@tiara.ocn.ne.jp

社名変更

▷(株)中村農園(埼玉県)
(新)(株)中村農園
(旧)有中村農園

メールアドレス変更

▷(有)埼玉林業種苗農園(埼玉県)
(新)sairin@hb.tpl.jp
(旧)saitamarlingyo@m8.dion.ne.jp
▷田宮園芸(鳥取県)
(新)tamiya-eng@sea.chukai.ne.jp

訃報

開沼茂三朗様(栃木県)
(故)開沼園芸(開沼茂樹氏父)
平成25年3月7日没
享年85歳

長谷川市郎様(栃木県)
長谷川園(長谷川章氏父)
平成25年3月28日没
享年91歳

小松崎不二男(茨城県)
定松園(小松崎定男氏父)
平成25年4月10日没
享年88歳

鈴木敬二様(東京都)
(有)鈴木園(鈴木博氏父)
平成25年2月23日没
享年84歳

古賀巧一様(福岡県)
(有)フクダイ種苗園
(古賀一生氏父)
平成25年3月20日没
享年82歳

うえき・よろず相談

[質問]

「維持管理に手間のかからない樹木の代表種を教えてください。」

公園、道路(街路樹)、個人庭園、会社、工場等に植栽されている樹木で維持管理(剪定、病害虫防除、施肥等)にまったく手間のかからない樹木はありません。健全な、美しい樹木を育てるためには、樹木の特性を活した管理をしなくてはなりませんが、中でも病害虫の害が少なく、剪定等の簡単に出来る樹木を紹介します。

樹木の特性

△簡単 ×弱い ○普通 ◎強い ■非常に強い

樹木名	剪定	病害	虫害	肥料	乾燥	塩害	風害
アメリカハナミズキ	△	○	○	○	×	×	×
イチヨウウ	△	■	■	○	○	○	○
イヌマキ	○	○	○	○	○	■	○
ウバメガシ	○	○	○	○	○	■	○
ウメ	○	○	×	○	○	○	○
カイズカイブキ	○	○	○	○	○	■	×
キンモクセイ	△	○	○	○	○	×	○
クロマツ	○	○	○	○	○	■	○
ゴールドクレスト	△	×	○	○	○	○	×
ゴールドライダー	△	○	○	○	○	○	○
サクラ	△	○	○	○	○	○	○
シマトネリコ	△	■	■	○	○	○	○
シラカシ	△	■	■	○	○	○	○
ソヨゴ	△	○	○	○	○	○	○
タイサンボク	△	■	■	○	○	○	○
タブノキ	△	○	■	○	○	○	○
ブルーへブン	△	○	○	○	○	○	×
モミノキ	△	■	■	○	○	○	○
ヤブツバキ	△	○	○	○	○	○	○
ヤマボウシ	△	○	○	○	×	×	×

*シマトネリコが病害虫に強く剪定も簡単で常緑で落葉も少なく自然な姿の美しい樹木です。

回答協力：愛媛県 有限会社横山緑化センター 横山久馬二氏

うえき・よろず相談では、質問・疑問を募集中！

日頃不思議に思っていること、困っていること、聞いてみたいことなどが解決できる好機会です。ご自由にお寄せ下さい。

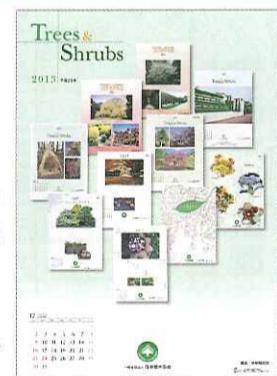
下記の質問へのご回答を広く募集中です！ご回答者には寸志を差し上げております。

6月号質問

→「鳥や獣による畠への被害で困っています。良い対策方法を教えて下さい。」

回答〆切 5月17日

※植木協会ホームページ・会員限定情報・掲示板でご投稿いただくか、事務局 緑化通信担当(kawamura@ueki.or.jp)までお寄せください。



平成26年植木協会カレンダー用画像大募集！

～あなたの植木をPRしませんか？～

協会カレンダーで御社商品をPRしませんか？

カレンダーに掲載されると、画像謝礼金をお渡しします。

さらに、関係団体および造園業界で広くPRできます。カレンダーのみにとどまらず、緑化通信や各種広報資料で外部に披露される機会が多くあるという様々な特典があります。

施工事例は大歓迎！

御社の圃場から、都会の高層ビル、マンション、個人のお庭へお嫁入りし、活き活きと成長している植物の画像など、ぜひお寄せください。

これは！という良い写真がありましたら、随時受付しておりますので、是非ご協力よろしくお願いします。多数のみなさんの御応募をお待ちしております。

【応募要領】

- 写真はスライドのポジか、デジカメの場合は1MB以上でピントの合った写真。
- 応募された写真は編集委員会で選択して採用を決めさせて戴きます。
- 送り先は植木協会・カレンダー担当宛にメールまたはCDで送付。
- 各画像ファイルには、「学名(和名) _ 所有者」を明記してください。

農林水産省登録 第20838号

作物名	適用害虫名
まつ(生立木)	マツカレハ マツノマダラカミキリ成虫
樹木類 (つじ類、どちのき、プラタナス、さんごじゅ、ひいらぎもくせい、いぬまきを除く)	ケムシ類、カイガラムシ類
つじ類 (おおむらさきつじを除く)	アブラムシ類
おおむらさきつじ	ツツジグランバイ ケムシ類、カイガラムシ類
どちのき	ツツジグランバイ、アブラムシ類 チュウレンジハバチ ケムシ類、カイガラムシ類 トチノキヒメヨコバイ アブラムシ類
さんごじゅ	サンゴジュハムシ、アブラムシ類
ひいらぎもくせい	ヘリグロテントウノミハムシ、アブラムシ類 ケムシ類、カイガラムシ類
いぬまき	キオビエダシャク アブラムシ類
ばら	チュウレンジハバチ

※使用方法…散布

松くい虫と庭木の害虫防除に

▼同時防除に▼

マツノマダラカミキリ+マツカレハ ケムシ類+カイガラムシ類

マツグリーン液剤2

いやな臭いや
汚れがなく
環境に優しい



ミツバチ、
マルハナバチ
に安全!

株式会社ニッソーグリーン 〒110-0005 東京都台東区上野3-1-2 TEL.03-5816-4351 http://www.ns-green.com/